

- D 工学や技術の道具としての数学や物理学などの自然科学の基礎、ならびに情報処理技術を習得し、専門の基礎科目において、応用できる能力を身につける。
- E 専門の主要分野を構成する構造工学、水工学、地盤工学、社会基盤計画学、建設材料学の基礎知識を身につける。
- F 環境や維持管理に配慮した社会基盤整備ならびに安全で快適なまちづくりに必要な応用知識を身につける。

● 技の教育

- G 実社会において、即戦力につながる専門の実務基礎能力を身につける。
- H 主要分野に関する実験・実習、演習を通して現象の理解を深め、論理的な思考力を身につける。
- I 新たな技術的な問題を設定することができ、習得している専門基礎知識ならびに応用知識を総合化し、解決する方法を模索できる能力を身につける。
- J 少人数教育を通して、論理的な記述・口頭発表・討議のできるコミュニケーション能力を身につける。

建設システム基礎プログラムは、建設システム工学の基礎に重点をおくとともに、他の分野の学科目も含め幅広く学ぶことが可能です。総合プログラム指定科目を履修しない場合や、他学部や他学科における開講科目等を履修して卒業要件を満たす場合などは、このプログラムを選択することになります。

建設システム基礎プログラムにおける学習・教育目標はつぎのとおりです。

- 徳の教育 多様な価値観を備え、人間としての道徳ならびに組織における協調性をもった人材を育成する。
- 知の教育 自然科学の基礎を習得するとともに、専門分野を中心とした幅広い領域の基礎知識を身につける。
- 技の教育 専門の実務基礎能力に加え、新たな課題に対する柔軟な思考力と基本的な解決能力を身につける。

プログラム選択方法

これらのプログラムの選択は、3年次進級時に希望を調査の上、書類と面談により決定します。選択したプログラムの変更は原則としてできません。これらの教育プログラムにおける教育課程一覧表および卒業の要件は後述の通りです。どちらのプログラムにおいても卒業に必要な単位数は124単位以上ですが、総合プログラムではこれに加えて、指定科目から必要単位数を修得することが卒業の要件となっています。指定科目が不合格となった場合には、卒業までに再度履修して必要な単位を修得することが求められます。

なお、建設システム工学科で開講される主要学科目は、教育成果の水準を技術士一次試験やFE試験、国家公務員Ⅱ種試験レベルに設定しています。レポートや小テスト、試験による学習の質および量について公正で客観的な評価がなされます。したがって、科目の成績評価は、学生の所属する教育プログラムの種別に係わりなく同等の基準で行なわれます。

補 足

本学科における指導方針は下記のとおりです。

- ① 科目毎の授業計画を授業の始めに説明します。同時に科目毎の到達目標を示し、成績の評価基準も明確にします。到達目標に達したかどうかはみなさん自身で自己評価してもらいます。成績評価は、評価基準に従って厳正に行われることとなります。
- ② 国際的な水準と照らし合わせて、十分なレベルを有した試験の答案やレポート、図面、論文のみが成績の評価対象となります。
- ③ 定期試験、授業で課すレポートや小テスト、あるいは図面や論文などは教育水準を証明する証拠資料として保存します。証拠資料の保存にご協力下さい。
- ④ 自主的な学習姿勢を身につけて下さい。授業中に教員の話の聞き、与えられた課題をこなすだけの受身的な学習ではなく、自ら進んで積極的に学習して下さい。

平成16年度入学 建設システム工学科 建設システム基礎プログラム 教育課程一覧表

部 門	系	授 業 科 目 名	単 位 数				毎 週 授 業 時 間 数				摘 要				
			必修 科目	選択 必修 科目	選択 科目	自由 科目	1 年		2 年			3 年		4 年	
							前	後	前	後		前	後	前	後
専 門	建設 計画 システ ム系	社会基盤計画学Ⅰ		2					2						
		社会基盤計画学Ⅱ			2					2					
		都市・国土計画論		2							2				
		道路システム学			2							2			
		交通システム学			2								2		
専 門	建設 材料 システ ム系	建設材料学		2					2						
		複合材料工学Ⅰ		2						2					
		複合材料工学Ⅱ			2						2				
		建設材料リサイクル			2						2				
		防災システム学Ⅰ		2							2				
教 育	防災 システ ム系	防災システム学Ⅱ		2							2				
		砂防工学			2						2				
		耐震工学			2							2			
		防災計画論			2							2			
		建設システムセミナー		2								2		×	
部 門	共通	測量学Ⅰ		2					2					☆	
		測量学Ⅱ			2					2				☆	
		測量学実習Ⅰ		2					2	2				☆×	
		測量学実習Ⅱ			2						2	2		☆×	
		構造設計			2							2		×	
		建設工学実験Ⅰ			2						4			×	
		建設工学実験Ⅱ			2							4		×	
		建設デザイン学			2					2					
		製図技法		2					2	2					×
		建設施工法Ⅰ		2							2				
		建設施工法Ⅱ			2								2		
		建設マネジメント			2								2		
		建設システム総合演習		1								2		×	
		インターンシップ			1							△		×	△夏期・春期休暇中
		卒業研究		4									*	*	×

×:他学部・他学科履修不可

*:卒業研究の毎週授業時間数は、前期4時間、後期4時間を最低条件とする

1. 履修登録での留意事項

「理工学部教育課程」および「履修等に関する規定」を熟読のうえ履修登録をして下さい。

① ☆：測量士または測量士補の国家試験資格申請に必要な科目を示します。

2. 進級の条件

2年次から3年次への進級については、2年次終了までに62単位以上を修得していることが必要です。

3. 卒業研究の着手条件

次の条件を満たすことを原則とします。

3年次終了までに100単位以上修得し、当該年度に卒業見込みであること。

4. 卒業の要件

建設システム基礎プログラムの卒業に必要な単位数は次のとおりです。

部 門	項 目	単 位	
総合基礎部門	選択必修科目	10単位	
	選択科目	10単位以上	
	計	20単位以上	
専門教育部門	必修科目	4単位	
	選択必修科目	理工学基礎科目	20単位
		その他の専門科目	※ 31単位
	選択科目	49単位以上	
	計	104単位以上	
合 計		124単位以上	

※ 専門教育部門のうち理工学基礎科目以外の科目の選択必修科目を15科目以上（卒業研究を含め各系・共通の選択必修科目より1科目以上）修得すること。

平成16年度入学 建設システム工学科 建設システム総合プログラム 教育課程一覧表

部 門	系	授 業 科 目 名	単 位 数				総 合 プ ロ グ ラ ム 指 定 科 目		毎 週 授 業 時 間 数				摘 要				
			必修 科目	選択 必修 科目	選択 科目	自由 科目	A		1 年		2 年			3 年		4 年	
							B	前	後	前	後	前		後	前	後	
専 門	地盤システム系	地盤力学Ⅰ		2			⑤				2						
		地盤力学Ⅱ		2			⑤				2						
		地盤力学Ⅲ			2							2					
		建設地質学			2								2				
		地盤調査システム学			2									2			
専 門	建設計画システム系	社会基盤計画学Ⅰ		2			⑤				2						
		社会基盤計画学Ⅱ			2							2					
		都市・国土計画論		2			⑤					2					
		道路システム学			2								2				
		交通システム学			2									2			
専 門	建設材料システム系	建設材料学		2			⑤				2						
		複合材料工学Ⅰ		2			⑤					2					
		複合材料工学Ⅱ			2								2				
		建設材料リサイクル			2		⑤					2					
教 育	防災システム系	防災システム学Ⅰ		2			⑤					2					
		防災システム学Ⅱ		2			⑤						2				
		砂防工学			2								2				
		耐震工学			2									2			
		防災計画論			2									2			
部 門	共通	建設システムセミナー		2			⑤							2		×	
		測量学Ⅰ		2			⑤			2						☆	
		測量学Ⅱ			2		⑤				2					☆	
		測量学実習Ⅰ		2			⑤			2	2					☆×	
		測量学実習Ⅱ			2		⑤					2	2			☆×	
		構造設計			2									2		×	
		建設工学実験Ⅰ			2		⑤					4				×	
		建設工学実験Ⅱ			2		⑤						4			×	
		建設デザイン学			2							2					
		製図技法		2			⑤			2	2						×
		建設施工法Ⅰ		2			⑤					2					
		建設施工法Ⅱ			2									2			
		建設マネジメント			2		⑤								2		
		建設システム総合演習		1			⑤						2				×
		インターンシップ			1									△			×
卒業研究		4			⑤								*	*	×		

×:他学部・他学科履修不可

*:卒業研究の毎週授業時間数は、前期4時間、後期4時間を最低条件とする

総合プログラム指定科目

A: ○印の科目はすべて修得すること

B: ①印の科目は5単位以上修得すること

②印の科目は2単位以上修得すること

③印の科目は8単位以上修得すること

④印の科目は31単位以上修得すること

⑤印の科目は卒業研究を含めて43単位以上修得すること

1. 履修登録での留意事項

「理工学部教育課程」および「履修等に関する規定」を熟読のうえ履修登録をして下さい。

① ☆：測量士または測量士補の国家試験資格申請に必要な科目を示します。

2. 進級の条件

2年次から3年次への進級については、2年次終了までに62単位以上を修得していることが必要です。

3. 卒業研究の着手条件

次の条件を満たすことを原則とします。

3年次終了までに100単位以上修得し、当該年度に卒業見込みであること。

4. 卒業の要件

建設システム総合プログラムの卒業に必要な単位数は次のとおりです。

以下の表(1)および表(2)の両方を満たすことが必要です。

表(1)

部 門	項 目	単 位	
総合基礎部門	選択必修科目	10単位	
	選択科目	10単位以上	
	計	20単位以上	
専門教育部門	必修科目	4単位	
	選択必修科目	理工学基礎科目	20単位
		その他の専門科目	※ 31単位
	選択科目	49単位以上	
	計	104単位以上	
合 計	124単位以上		

※ 専門教育部門のうち理工学基礎科目以外の科目の選択必修科目を15科目以上（卒業研究を含め各系・共通の選択必修科目より1科目以上）修得すること。

表(2)

総合プログラム指定科目	単 位
○印の科目	4単位
①印の科目	5単位以上
②印の科目	2単位以上
③印の科目	8単位以上
④印の科目	31単位以上
⑤印の科目	卒業研究を含めて43単位以上